

授業科目	生理学Ⅲ				
担当者	赤松 香奈子				
実務経験者の概要					
学科名	作業療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	選択

■ 内 容

人体の各臓器のそれぞれの機能と構造を理解する

■ 到達目標

生理現象を理論的に考察できるようになる

■ 授業計画

- 第1回 細胞：細胞の構造と機能、浸透圧、膜電位、シグナル伝達
- 第2回 神経：神経細胞の構造と機能、シナプス、筋組織、筋収縮のしくみ
- 第3回 中枢神経系1：脳と脊髄の構造と機能、大脳と脳幹
- 第4回 中枢神経系2：大脳基底核、大脳皮質の機能局在
- 第5回 自律神経系：末梢神経系の構造と機能、自律神経の特徴と調節、化学伝達物質
- 第6回 感覚器：体性感覚、痛みの受容、聴覚、平衡感覚、視覚、味覚、嗅覚
- 第7回 血液：血液の組成、血漿蛋白質の組成と機能、造血
- 第8回 消化器1：消化器の基本構造、咀嚼と嚥下、消化管の運動と機能
- 第9回 消化器2：消化と吸収のしくみ、肝臓の機能
- 第10回 呼吸器：呼吸器の構造と機能、呼吸運動、ガス交換
- 第11回 循環器1：循環系の基本構造、心臓、心電図
- 第12回 循環器2：循環調節機構、リンパ循環、胎児循環
- 第13回 腎・泌尿器1：腎臓の構造と機能、クリアランス
- 第14回 腎・泌尿器2：水と電解質、再吸収と排泄
- 第15回 内分泌：ホルモンの種類と調節、生殖：男性の生殖機能、女性の生殖機能、妊娠

■ 評価方法

科目試験（筆記試験）100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

系統ごとに復習プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみでなく、さまざまな参考書等を用いて理解を深めること。

■ 教科書

書 名：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第4版
 著者名：岡田隆夫、長岡正範
 出版社：医学書院

■ 参考図書

書 名：国家試験の達人 PT・OT シリーズ 運動解剖生理学編
 著者名：理学療法科学学会編
 出版社：株式会社 アイベック

■ 留意事項

基本的な人体の生理機能を学びます。内容は国家試験で求められる内容を基本としています。
作業療法士の国家試験では、出題数が多い教科です。しっかり学びましょう。
※遅刻・欠席はルールに従って必ず届けを出すこと

■ 講義受講にあたって